

「当事者(子ども)の視点から、一時保護所のレガシーとあり方について考える」企画第2弾
一時保護施設のレガシーイノベーション自慢大会

昨年度の滋賀大会では、一時保護施設において過去から引き継がれてきたルールや規則等のたくさんの「レガシー」を確認しました。

さて、そのレガシーたちは法改正を受けてどうなったのか、一時保護施設におけるこの間の取組み、イノベーションの実践例を自慢しあって、さらなるイノベーションのための知恵と活力をみんなで共有しませんか。



令和6年

11月29日(金) 18:30~20:30

会場 サンポートホール高松 第6会場 61会議室

対象 **一時保護所職員の皆さま**
一時保護所専用施設職員の皆さま
児童相談所職員の皆さま

参加費無料
先着50名

企画 茂木 健司 (杉並区児童相談所設置準備課)
藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし)
馬場 貴孝 (相模原市児童相談所)
小積 律子 (堺市子ども相談所)
八木 涼子 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

お申込み

下記URLまたはQRコードから、
11月27日(水)までにお申込みください。

<https://questant.jp/q/jaspcan2024>



問合せ先: r.yagi@murc.jp (担当 八木)